

Cross-Fire FX

ポートフォリオマニュアル

FX Automatic Trading System

<http://www.fire-fx.com/>

Forex Trading Laboratory

著作権について

「Cross-Fire FX」（以下、本書と表記します。）は、著作権法により保護されています。

本書の取り扱いについては、下記の点にご注意下さい。

- 本書の著作権は、「Forex Trading Laboratory」にあります。
- 本書のすべての内容は、日本の著作権法、及び国際条約によって保護されています。
- 「Forex Trading Laboratory」が、事前に書面をもって許可した場合を除き、本書の一部、または全部を、あらゆるデータ蓄積手段（印刷物、電子ファイル、ビデオ、テープレコーダー等）により複製、流用、転載、転売することを固く禁じます。
- 著作権の侵害につきましては、著作権法第119条などの罰則がありますのでご注意ください。

第119条 次の各号のいずれかに該当する者は、5年以下の懲役若しくは500万円以下の罰金に処し、またはこれを併科する。

1. 著作者人格権、著作権、出版権、実演家人格権又は著作隣接権を侵害した者（第30条第1項（第102条第1項において準用する場合を含む。）に定める私的使用の目的をもって自ら著作物若しくは実演等の複製を行った者、第113条第3項の規定により著作者人格権、著作権、実演家人格権若しくは著作隣接権（同条第4項の規定により著作隣接権とみなされる権利を含む。第120条の2第3号において同じ。）を侵害する行為とみなされる行為を行った者、または第113条第5項の規定により著作権若しくは著作隣接権を侵害する行為とみなされる行為を行った者を除く。）
2. 営利を目的として、第30条第1項第1号に規定する自動複製機器を著作権、出版権または著作隣接権の侵害となる著作物または実演等の複製に使用させた者。

本書の使用に関する同意書

本同意書は、本書を購入した個人または法人（以下、甲と称す）と「Forex Trading Laboratory」（以下、乙と称す）との間で、本書の使用に関する一切の關係に適用します。

本書を甲が受け取り、パッケージを開封した場合には、本同意書に記載されたすべての事項に同意したものとみなします。

第1条 （本同意書の目的）

甲は、本同意書に基づき、乙が著作権を有する本書に含まれる情報と自動売買ソフトウェア（EA）を使用することができます。

第2条 （知的財産侵害の禁止）

甲は、本書に関するすべての知的財産権が乙に帰属することを承諾し、その権利を侵害しないことを約束します。甲は、乙の書面による事前許可が得られない場合は、以下の行為を行ってははいけません。特に本書を他者に貸与、譲渡、販売、公開することを固く禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社及び関連組織（販売店、代理店等）においてのみ、本書に関する情報を使用できるものとします。

- （1） 本書、及び「Cross-Fire FX」の複製、転写、転載、改ざん、部分使用、及び転売行為
- （2） 本書、及び「Cross-Fire FX」の内容の一部または全部に関する出版、講演、広報活動
- （3） 本書、及び「Cross-Fire FX」の内容に関して取材を受ける行為
- （4） 本書、及び「Cross-Fire FX」の内容に関して不特定多数人に告知する行為
- （5） その他、前各号に該当するおそれのある行為、またはこれに類する行為

第3条 （損害賠償）

甲が本同意書の第2条に違反した場合、甲は乙に対し、その違約金として、違反件数と販売価格を乗じたものの10倍の金額を払うものとします。また、甲が本同意書に反した行為、または不正、違法な行為によって乙に損害を与えた場合は、甲は乙に対し損害賠償の請求を行うことができるものとします。

第4条 （責任の範囲）

乙は、甲に対し、本書の情報の使用により発生した一切の損害について責任を負わないものとし、損害賠償の義務もないものとします。

第5条 （本同意書の変更）

乙は、本同意書の内容をいつでも変更、追加、削除できるものとし、文書、電子メールによるお知らせなど乙が適当と考える方法により甲に通知します。本同意書の内容の変更がなされたことの通知を甲が受け取った後に、甲が本書の使用を継続する場合は、本同意書の変更を承諾したものとみなします。

第6条 （裁判管轄）

本同意書に関して訴訟の必要が生じた場合には、乙の所在地を管轄する地方裁判所を第一審の管轄裁判所とします。

－ 目 次 －

- 1.はじめに
2. 「クロスファイア&トップガン損益データ」 エクセルに関して
3. 「クロスファイア **FX**&トップガン **FX** ポートフォリオバックデータ成績」
エクセルに関して
- 4.投資資金量別各通貨の推奨ポジション量
- 5.Mr.Brain レシオに関して
- 6.多通貨同時運用の場合の EA の設定に関して
- 7.最後に

1. はじめに

この度は、「Cross-Fire FX」をご購入頂きまして、誠にありがとうございます。

この「Cross-Fire FX」は、当初ドル円専用で販売開始されましたが、実は、スプレットコストの大きい通貨等を除いて、他の多くの通貨でも、10年間で概ね右肩上がりの収支曲線を描いていきます。

そのロジックの優秀さを証明するものといえるでしょう。

そこで、より堅牢で利益の向上を目指した資産運用をするために、多通貨で同時に「Cross-Fire FX」を稼働させてポートフォリオで運用する方法をご提案いたします。

また、同梱のトップガンFXも同時に稼働させることによりさらにより安定的な運用を目指す事が出来るようになるでしょう。

ポートフォリオを組むことによって、ドローダウンは単純に加算されることはなくても、利益は単純に加算されるという、優位さと、資金効率を上げられる利点を活かせることが可能になってきます。

このマニュアルでは、クロスファイアFXの複数通貨+トップガンFXの同時稼働を行なった場合の損益のバックデータが入ったエクセルの見方や使用方法と、運用上の資金マネジメントや、推奨の通貨毎のポジションの割合等の説明をいたします。

ぜひ、有効に活用いただいて、ポートフォリオを組んでの運用の有利さを体感して頂ければと思います。

なお、このマニュアルの成績等はすべて4X Pでのものです。ご注意ください。

2. 「クロスファイ&トップガン損益データ」エクセルの見方

まず最初に注意事項ですが、この「クロスファイ&トップガン損益データ」のエクセルですが、Excel2007 以上のバージョンをおすすめいたします。それまでのバージョンでの動作確認は行なっておりませんのであらかじめご了承ください。

また、かなり容量が大きく動作が重たくなっております。あらかじめご了承ください。
尚、トップガン F X との同時稼働でのポートフォリオのデータ作成にあたり、データ量が多くなり過ぎ、I7 の高性能パソコンでも再計算が完了するまで数分かかるようになってしまったため、初期バージョンの様な、ポジション量の任意設定機能や損益グラフは省いて、推奨通貨量の割合での過去の成績のみの表示といたしました。あらかじめご了承ください。

この「クロスファイ&トップガン損益データ」のエクセルは、弊社が様々な通貨での 1999 年 8 月以降 2010 年 3 月末までの、長期のバックデータを基に、成績の優秀な上位通貨ならびにポートフォリオを組んだ際にパフォーマンスの向上が見込めるクロスファイア 4 通貨+トップガン F X 1 通貨を厳選し、各通貨の推奨ポジション数量の割合に基づいて損益を時系列で組み立て直したものです。ご参考にして頂ければと思います。

推奨の各通貨量の割合は下記の通りです。

クロスファイ F X

USDJPY 2

GBPCHF 1

EURGBP 5

EURCHF 1

トップガン F X

EURCHF 9

以上の割合で 1 単位あたり 1 万通貨の設定での成績になります。

注) F X C M 版は

クロスファイ F X

USDJPY 2

GBPCHF 1

EURGBP 2

EURCHF 1

以上になります。

3. 「クロスファイ FX&トップガンFX ポートフォリオバックデータ成績」 エクセルに関して

あらかじめポートフォリオを組んだ際の推奨ポジション量の際のパフォーマンスを調べた結果を簡易的にまとめてあります。

また、この数値を参考にしながら次の「4」の項目の説明の投資資金に応じた推奨ポジション量のシミュレーションも可能になっております。

この機能の説明は次の項目でいたします。

4. 投資資金量別各通貨の推奨ポジション量

「クロスファイ FX&トップガンFX ポートフォリオバックデータ成績」のエクセルシートに組んである計算式で、推奨ポジション量のポートフォリオによる成績を参考にして頂きながら、ご自身の投資資金や、投資スタンス、許容リスク等に応じて最適なポートフォリオの各通貨のポジション量を決めて頂ければと思いますが、弊社の推奨モデルの具体例をあげてご説明をしたいと思います。

まず、成績一覧表の中で、一番バランス取れていると思われるのは、過去の 10 年間という長期での Mr.Brain レシオと、直近の 2 年間での Mr.Brain のバランスがとれていると思われる、次の各通貨のポジション量の組み合わせです。

クロスファイ F X

USDJPY 2

GBPCHF 1

EURGBP 5

EURCHF 1

トップガン F X

EURCHF 9

以上の組み合わせです。

各通貨のポジション量の割合をそのまま 1 万通貨単位とした場合、最大ドローダウンが 10011.91 \$ となり、1 ドル=100 円で換算すると 1001191 円になります。

この最大ドローダウンを最大に取れるリスクに設定して、その最大のリスクを自身の投資総資金量の 30 % に設定した場合、投資総資金量は、最大ドローダウンの約 3.3 倍になるので 3003573 円になります。

ですので、約 300 万円程度の投資金で、上記の通貨量になります。これで、期待できるリターンは過去 10 年の Mr.Brain レシオの通り推移すると仮定したのなら、毎月最大ドローダウンの 2.012648709 倍の 2015045 円の利益が毎月期待できます。過去 10 年よりも直近の傾向を重視し直近 2 年の Mr.Brain レシオの通り推移すると仮定したのなら、毎月最大ドローダウンの 0.546255784 倍の 546906 円の利益が毎月期待できます。

(将来の利益を保障するものではありません。あくまでも過去の結果に基づいての期待値です。)

1999年8月以来の成績は、約300万円の資金でスタートなら、2010年3月末の時点で2億6092万5859円の約87倍も資金が増加した計算になり、ドル円単独よりもリスクの割合に対するリターンの金額が大きかったことになります。

いやもっと積極的に約50%位のドローダウンがでも大丈夫だということであれば、約200万円の資金になります。毎月の利益期待額は、先ほどの例と同じです。

逆にもっと慎重にということで約10%の最大リスクしかとらないという場合は約1000万円程度の資金量で毎月の利益期待金額は同じになります。

今までの説明を踏まえて、わかりやすく自分自身の損失許容金額に合わせたポジション量や必要最低投資金額が算出できるエクセルの表を作成しました。

「3」の項目で取り上げた「ポートフォリオバックデータ成績一覧表」の「A5」のセルの所にある「換算レート」以下の部分になります。

使用方法は、次の通りです。

「AからC7」のセルに各通貨のレートを入力します。

「AからD9」のセルに各通貨の一覧表などを参考にご自身で決めたポジション量の割合をを入力します。(初期値では推奨ポジション量の割合が入っています)

「E9」のセルにご自身の最大損失許容金額を円で入力します。(初期値は1001191円になっています。)

「F9」のセルに最大ドローダウンもしくは想定最低ドローダウンの金額をドルで入力してください。

「G9」に業者のレバレッジを入力してください。(初期値では4X Pの300倍が入っています)

上記を入力し計算されると、次の各セルに数値が出てきます。

「E11」のセルは損失許容金額とクロスファイアFXで最大限ポジション持った場合に必要な証拠金を合わせた、運用するにあたっての証拠金維持率が100%の業者での最低限必要な金額が出力されます。証拠金維持率が低い業者の場合は、この金額より少ない金額になります。

「A11」のセルはUSDJPYのポジション量が表示されます。単位は万通貨です。

「B11」のセルはGBPCHFのポジション量が表示されます。単位は万通貨です。

「C11」のセルはEURGBPのポジション量が表示されます。単位は万通貨です。

「D11」のセルはEURCHFのポジション量が表示されます。単位は万通貨です。

単位は万通貨単位で表示される為、EAのロット数のパラメータ設定を行なう場合は、この数値を10で割った数値を入力してください。

表示が5だった場合は、ロット数は0.5になります。0.7と表記された場合はロット数は0.07です。

この算出された結果をもとに、十分なシュミレーションをして、運用を行なってください。

5. Mr.Brain レシオに関して

弊社「フォレックストレディングラボラトリー」のプロデューサーでもある Mr.Brain 氏が担当しているトレコミュ内のコラムで、様々な EA の性能を比較するために考案した Mr.Brain レシオの解説がありますので、その時の記事をそのまま抜粋し掲載いたします。

最近は多数の種類の EA が販売されるようになりましたが、比較の優劣をどのようにつけたら良いのかのある程度の目安に使える数値です。この Mr.Brain レシオの理解を深めることによって、あなたの投資力は格段にアップすることは間違いないことでしょう。ぜひ参考にしてください。

↓ 以下記事の抜粋です。

前回は、優秀なEAを見極める為の前提としての基本的なパフォーマンスデータの見方をお話しましたが、今回は前回の知識を活かした上で、どのような ポイントを抑えて優秀なEAかどうかを見極めるかについてをお話したいと思います。

Strategy Tester Report には前回お話したように様々な角度からそのEAの優秀さをはかれるような項目があるわけですが、その結果自体が信頼できるものなのかどうか がとても大切になってきます。

最初に見て欲しいのが、検証時間足と測定に使用に使用した時間足データとの相違数 (Mismatched charts errors) です。もし、このエラーが多ければ、試験期間内のデータが正常ではない為、テストの信頼性に掛けます。なので、まず、Mismatched charts errors の数値が少ない事、そして、テストで利用したティックの割合 (Modelling quality) の数値が高いということが重要です。

そして、次に、レポート上の数値自体の信頼度を測る上でもっとも重要な項目というのが総売買回数 (Total trades) と、検証期間です。売買回数は多ければ多いほど統計学的に考えても、他の項目全体の信頼性が高いと言え、今後も過去と同様なパフォーマンス を期待出来る可能性が高くなると思います。検証期間にもよりますが、この売買回数が1000回にも満たないようなものは、私はよほど他の項目が抜きん出て すごくないと、正直魅力を感じません。凄く良かった場合でも、まずはどれくらい信頼していいのかを計るために、あらゆる角度から細かい検証をします。とい いますのは、今後、何百回、何千回と可能な限り長期で良績を出して欲しい訳ですから、売買回数がある程度こなしたデータでないと、実運用を始めた際のぶれ 幅が大きくなったりします。

システムを製作する立場になるとわかりますが、1000分の1の確率って、1000回前後テストするとなぜかちゃんと出現するんですよ(笑)なので 売買回数が少ないものは、よりシビアにどこかに落とし穴がないかじっくりと見極める必要があります。逆に総売買回数 (Bars in test) が1000回以上あるものであれば、他の様々な項目の信頼性も高く、成績が良いものであれば、かなり期待してもいいと思います。また、期間も長期であればあるほど良いと思っています。

実際に運用しはじめるとコケルEAの多くは、直近の数年程度しかバックデータを取っていないものが多いようです。正直、数年で、回数を少なくすれば いくらでも成績の良いシステムは作成出来るんですよね。例えば、勝率100%のEAを作る事もそれほど難しいものではありません。ですが、回数を1万回以上とこなしてこなし

て、ユーロ発足の時期からの10年間程度の長期間のバックデータで良い成績となると、そんなに簡単ではなくなってきました。

実際に市販のEAでバックデータの期間が短いものは、長い期間だと成績が悪くて出せない場合が多いです。そういう場合、「直近の成績が大切だ」と屁理屈で、逃げているケースがほとんどです。もし正直に過去の悪い成績を載せると売れなくなっちゃいますからね。また、バックデータがろくに載っていないものは論外です。僕も様々なEAを見てきましたが、最近の数年しかバックデータがないものは、その後こける可能性が大ですから注意しましょう。ただロジックによっては、バックデータが本当に取れないものもあるので、絶対ではありません。例えば、メタトレーダー4(MT4)のストラテジーテスターでは、動作させる通貨ペア以外の他通貨のレートを取り込んで動作するEAの場合、ストラテジーテスターの仕様上、他通貨ペアのレートが取り込めません。なので、そういう仕様のEAではバックテストが実施できません。

なので、まずは、今お話した、以下の基準で選別すれば下手なものを掴まずにすむようになるでしょう。

1. 検証期間と測定に使用した時間足データとの相違数 (Mismatched charts errors)
2. テストで利用したティックの割合 (Modelling quality)
3. 総売買回数 (Total trades)
4. 検証期間

下手なものを掴むだけならまだいいですが、大切な資金をそういった使えないEAのせいで溶かしてしまうのは本当にもったいないです。なので、しっかり見極めてくださいね。

さあ、これで、まずは結果自体をじっくり検証する価値があるかどうかの振るいをかけることが出来たわけですが、実際に優秀なEAをピックアップするにはどうすればいいかお話をしていきます。

それで、これから話すのはあくまでも僕の見方や考え方なので、投資スタンスやリスクのとり方によっては、当てはまらない場合がありますので、その点はご了承くださいね。

僕はFXをはじめ、投資は、いかに短い期間で最大限のパフォーマンスを目指すかということにフォーカスするべきだと思っています。その為に自分がどれ位の資金を捨てる覚悟があるか、まずはそこをしっかりと決めるべきだと思っています。その捨てれる覚悟の金額が決まったら、最悪の事態を想定して、その取れるリスクの範囲内で最大限のパフォーマンスを目指します。

それで、優秀なEAをピックアップするのに、様々な検証結果の項目の一番重視したいのが、最大ドローダウン (Maximal drawdown) と、相対ドローダウン (Relative drawdown) です。プロフィットファクター (Profit factor) ではありませんよ。よく、プロフィットファクター (Profit factor) を重要視する方がおられますが、プロフィットファクター (Profit factor) というのは、単純に、総利益／総損失です。なので、結果的に見ると、プロフィットファクター (Profit factor) が低いEAの方が、プロフィットファクター (Profit factor) が高いEAよりも、総純損益 (Total net profit) が多くなるケースもあります。なので、あくまでプロフィットファクター (Profit factor) は参考程度にしか見ません。

話を戻しますが、僕は最大ドローダウン (Maximal drawdown) と、相対ドローダウン (Relative drawdown) を注目します。相対ドローダウン (Relative drawdown) の意味がよくわかっていない人が多いみたいで、最大ドローダ

ウン(Maximal drawdown)のみを気にする人がほとんどみたいですが、両方同じくらいに大切だと思います。それと、気をつけないといけないのは、EAの設定で1ポジションあたりの数量が毎回1万通貨になっていない場合、EAの設定のポジション量で算出されますので、売買履歴や、EAのパラメータ設定を確認して1ポジションあたりの通貨量を把握した上で検証する必要があります。また、マネージメント機能付きのEAで複利の場合や、ストップの幅が大きかったり、大き目の幅でナンピンを何回か繰り返すもの、マーチンゲールタイプのも等、潜在的な含み損を大きく抱える可能性があるものは、この2つのドローダウンの見方が変わってきますので、注意が必要です。

その場合は単利だとうなるのかという視点で検証した方がわかりやすいと思います。例えばAとB、2つのEAを比較しているときに、共に売買ロット数が固定(単利)の設定になっていて、その他の項目の検証結果は全く同一だったとします。

AのEAは毎回1万通貨のポジションを持つ設定で、最大ドローダウンが、20万円だったとします。

BのEAは毎回5万通貨のポジションを持つ設定で、最大ドローダウンが、50万円だったとします。

A、BどちらのEAが優秀といえるかというと、BのEAの方が優秀という判断になるわけです。最近は様々なEAの検証をされていていらっしゃるブロガーの方も増えてきましたが、EAのサイトのパフォーマンスデータの数字そのままを比較して、絶対的な金額の少ないAのEAを「最大ドローダウンが少ないからAの方が優秀だ」と堂々と言っている場合があるので注意してくださいね。

そう考えると、日本の投資に対するレベルは、まだまだだなーと思ったりするわけで、正しい知識を身につけて、やはり最後は自分自身で見極が出来るようになった方がいいですね。ブロガーの方たちもEAの紹介をしているのはアフィリエイト収入が目的なので、実際のEAの善し悪しよりも、売れそうで報酬の大きいEAを推奨するケースが多々見受けられますので注意が必要です。

さて、ちょっと話がそれてしまいましたが、いよいよ、今回の最重要ポイントの説明に入りたいと思います。

複数のEAを比較している際どのような比較をすればそれぞれの実力がでてきやすいかというと、僕がいつも使っている実はとっても簡単な比較式があります。これを知っているかいけないかでは、良いEAを見判る能力に雲泥の差があるともいえます。この式を知っているだけで現在の著名なレビュアーの方たちよりも正しくEAを見極められる可能性が大きいこと間違いないです。なので、本当はあまりいいたくなかったんですが・・・このコラムの読者だけに、こっそりと特別にお教えしますね(^_^) 題して「**Mr.Brain レシオ**」です。その他の項目も総合的に見る必要はありますが、まずは、この「Mr.Brain レシオ」を比較して大きい方が優秀なEAといってもいいでしょう。

Mr.Brain レシオ

Total net profit ÷ Maximal drawdown(金額ベース) ÷ 期間

(比較するEAで年間あたりか、月間あたりか統一してください)

では、実際に某売り上げランキング上位2つの某有名EAをのバックデータの数値を使って「Mr.Brain レシオ」を算出してみましょう。※期間は月間で統一しています。

EA1 $1395038.40 \div 31013.87 \div 120 \text{ヶ月} = 0.37484\dots$
 EA2 $125040.27 \div 4612.55 \div 114 \text{ヶ月} = 0.23779\dots$
 EA3 $246000.21 \div 135870.38 \div 36 \text{ヶ月} = 0.05029\dots$
 EA4 $582729.00 \div 68000.00 \div 36 \text{ヶ月} = 0.23804\dots$
 EA5 $96995.60 \div 136091.40 \div 36 \text{ヶ月} = 0.01979\dots$
 EA6 $66453.50 \div 41010.10 \div 36 \text{ヶ月} = 0.04501\dots$

次に現在注目中の某EAです。

某EA $406398.18 \div 6496.08 \div 125 \text{ヶ月} = 0.50048\dots$

さて、算出した「Mr.Brainレシオ」ですが、具体的にどう意味があるかというと、投資なので、もしかしたらそのEAを使い始めたたん、過去 最悪と同等のタイミングでスタートしてしまうかもしれません。そういったことを想定して、最大ドローダウンに直面してしまっても、自分で決めた損失許容範囲の中に収めるために、どれだけの資金でどれだけのポジション量をとるかを決めたり、資金量に対するリスクの割合を決めたりするわけですが、上記の場合は 1ヶ月間で取れる最大のリスクを Maximal drawdown(金額ベース)と同等とした場合に、過去の該当期間中の平均利回りがどれ位あるのか分かるのが「Mr.Brain レシオ」なのです。

ちなみに、かの有名なウォーレン・バフェットの年間利回りが約20%と言われています。その利回りを「Mr.Brainレシオ」に関すると、月間で 求めた場合は 0.1 となります。なので、0.1 を上回っていれば、バフェット以上の利回りがあるという計算となります。

例えば、EA1の場合、仮に100万円の資金で、1ヶ月間あたり取れる最大のリスクを資金量に対する10%＝10万円とした場合、過去120ヶ月間の月間平均利回りが、10万円×0.37484＝約37484円 つまり年間約44.9808%の利回りだったということになります。ということで、単純に同じリスクを想定した場合にどれだけ効率よく利益を上げてきたかということがこの数値で比較できるわけです。ですので、上記の例で、一番低いE5と一番 高い某EAでは、同等のリスクを取った場合、約25.28倍利率が違っていたということです。

現在ネット上では様々なEAがあり、それぞれが、ばらばらの期間で、ばらばらのスタート資金量で、ばらばらのポジション数量でバックテストを掲載しています。一見してプロフィットファクター(Profit factor)や、勝率(Profit trades(% of total))に目がいきがちで、最初のころはどうやって比較したらいいか、一見してわからないと思います。ですが、この「Mr.Brain レシオ」を知っていれば、様々なEAを実際に運用するにあたっての自身が取れるリスクを同じ基準にして利益期待値を比較出来るため、表面上では判りにくい隠れた真の 実力を測る目安になります。

この数式も万能ではありませんので、その他の項目も総合的に判断することは常に必要になってきますが、多くの場合はこの数式で導き出された数値のみでも十分といえるくらい僕は信用している数値ですので、このコラムを読んでおられる読者の方も有効に活用していただければと思います。

それでは、今回はどのようなポイントを抑えて優秀なEAかどうかを見極めるかについて具体的な算出式を用いてお話をしました。

↑ 以上が抜粋です。ご参考になしてください。

6. 多通貨同時運用の場合の EA の設定に関して

メタトレーダー画面の左上の方の「ファイル」→「新規チャート」→利用したい通貨を選択でチャートが開きます。タブで通貨の種類を選択できるようになります。

その後5分足に変更して頂き、ドル円でご利用いただいたような同じ手順で、クロスファイア F X の EA をチャートにドラッグ&ドロップして、通貨量等の設定を行ない、ニコチャンマークにさせて稼働させて下さい。

他の通貨をさらに追加させる方法も同様です。

設定自体は、本体のマニュアルを参考にしてください。

尚、マジックナンバーは通貨毎に変える必要のないようプログラミングしてあります。

任意に変更頂いてもどちらでも稼働するようになっております。

7. 最後に

「Cross-Fire FX」を活用したポートフォリオでの運用に関してはについての説明は以上で完了です。もともと「Cross-Fire FX」自体が3つのロジックを組み込みポートフォリオの発想で出来た EA です。

「Cross-Fire FX」の基本ロジックが他の多くの通貨でも通用するという優秀さもあって、全く同じロジックを用いたままで、通貨の種類を変えてポートフォリオを組むだけでも、さらに安定した収益向上ができませんでした。

こういったことは、他の一般的に出回っている EA ではなかなか出来ない芸当だと思います。

ぜひ、ポートフォリオの理論を有効に活用し、あなたの資産運用にお役立て下さい。

このクロスファイア F X とポートフォリオマニュアルがあなたの資産運用の一助になれば、とても嬉しく思います。

2010年4月10日
Forex Trading Laboratory
「Cross-Fire FX」開発チーム
Mr. Brain

※このマニュアル内のエクセルの使用方法、ならびにポートフォリオの設定等の個別相談に関するサポートは行なっておりません。ご了承下さいませ。

連絡先 info@fire-fx.com